

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

安心してみんなが住みたくなる地域づくり

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

大分県

大分県大分市

## 3 地域再生計画の区域

大分市の区域の一部（大野川右岸の大南地区）

## 4 地域再生計画の目標

大南地区は、大分市の南部に位置し、大野川沿いの平地には、豊かな水利を生かした優良な農用地が広がる一方、幹線道路となる国道10号の沿線には、地域の活力となる商工業の集積が進んでいる。

地区内の戸次本町は、古代から日向街道の交通の要衝として、また、江戸時代には臼杵藩の市場のあるの在町として栄えた地域である。

地区の中心に位置する「帆足本家酒造蔵」は、文人画家の田能村竹田や儒学者の頼山陽らと親交があった大庄屋の帆足家より、平成7年に大分市に寄贈されたものであり、日本近代産業の1つである酒造業の工程がよくわかる建築群として、平成11年に「大分市指定有形文化財」に指定されたところである。

この貴重な歴史遺産である酒造蔵を核として、地元と協働するなか、「酒造蔵西広場」「町並み駐車場」などの整備を行い、また、国土交通省所管の「町並み環境整備事業」の大臣承認を受け、個人住宅等の修景整備や道路の美化にも取り組むなど、訪れた人が安心してゆっくりくつろげる生活文化都心としてのまちづくりを展開している。

一方、大南地区の道路交通体系は、広域的な道路網が国道10号に集約される形となっており、朝夕のラッシュ時における慢性的な交通渋滞の迂回路として、戸次本町内の生活道路が、臼杵市方面から国道10号へ向かうルートとして使用され、通過車両の増加により地域住民の日常生活が危険にさらされており、通過交通の排除が喫緊の課題となっている。

また、大南地区南部の吉野原等の既存集落においては、都心部への機能移転に伴い、過疎化・高齢化の進行が著しく、農業の担い手不足や田畑の休耕

など農村基盤の脆弱化が課題となっており、地域の人口流出を防ぎ、地域コミュニティの維持形成を図るための早急な対策が求められている。

このため、本計画に掲げる交付金による道整備事業やその他関連事業を一体的に整備することにより、吉野校区の既存集落と国道10号を結ぶ新たなルートを構築し、都市部と農村地域間の移動時間の短縮による新鮮な農産物のより効率的な供給ルートの確保や、都市施設である病院、社会福祉施設、商業施設などとのアクセス改善を図り、深刻化する過疎化に歯止めをかけることとする。

さらに、大南地区と隣接する「臼杵市」との歴史的な町並みを通じた広域観光連携や、古くから農業を基幹産業として栄えてきた「豊後大野市」との流通促進を図ることにより、農業と観光の両面における広域的な交流拠点としての大南地区全体の活性化を図ることとする。

これらにより、生活者である大南地区住民の日常生活における安心感の醸成と、訪問者との交流を通じた地域の産業、歴史、文化の再発見による地域への愛着心の醸成を図り『安心してみんなが住みたくなる地域づくり』をめざすこととする。

#### (目標1)

市道、広域農道、県道の整備による臼杵市、豊後大野市からのアクセス時間の短縮(約20分の短縮が見込まれる。)

#### (目標2)

戸次本町への訪問者の増加

(戸次本町の中核施設である『帆足本家酒蔵』の年間来場者数の15%増)

#### (目標3)

過疎化対策としての定住促進

(大分市吉野校区の人口を平成16年度並の水準で維持する。)

### 5 目標を達成するために行う事業

#### 5-1 全体の概要

臼杵市と大南地区を結ぶ「広域農道大南野津線」と「県道吉野原犬飼線」の整備を一体的に進め、枝線となる「市道安位犬飼線」を豊後大野市と大分市のアクセス道として整備する。また、「広域農道大南野津線」と国道10号

を結ぶ道路として、「市道横江線」と現在整備中の「市道戸次バイパス線」との接続を行うことにより、国道、県道、広域農道、市道による広域的な道路ネットワークを構築し、戸次本町の通過交通の排除はもとより、その周辺地域の農業振興、農産物の物流効率化、渋滞時間の減少を図る。

- ・ 市道認定月日
  - 市道横江線（昭和56年12月21日）
  - 市道安位犬飼線（昭和56年12月21日）
- ・ 広域農道法手続月日
  - 広域農道大南野津線 当初（平成3年10月4日）
  - 変更（平成13年3月13日）

#### 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

##### 道整備交付金を活用する事業

[施設の種類（事業区域）、事業主体]

- ・ 市町村道（大分市）大分市
- ・ 広域農道（大分市）大分県

[事業期間]

- ・ 市町村道（平成17年度～平成21年度）
- ・ 広域農道（平成17年度～平成21年度）

[整備量及び事業費]

- ・ 市町村道 1,190m、広域農道 621m
- ・ 総事業費 25億1千万円
  - 市町村道 2億円（内交付金1億円）
  - 広域農道 23億1千万円（内交付金11億5千5百万円）

#### 5 - 3 その他の事業

- ・ 市道戸次バイパス線
  - 戸次本町への通過交通を排除するため、国道10号線と市道横江線、県道坂ノ市戸次線を結ぶバイパスの整備
- ・ 戸次本町街づくり推進事業
  - 江戸時代から昭和初期まで日向街道筋の在町として栄えた伝統的な町並みと生活文化遺産の保全を行い、訪問者と地区住民と触れ合いを重視した交流型の観光拠点の整備
- ・ 県道吉野原犬飼線

「臼杵市と豊後大野市から戸次本町（大分市）へのアクセスの強化を図るため、市道安位犬飼線と広域農道大南野津線を結ぶバイパスの整備」

6 計画期間

平成17年度～平成21年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い状況を把握するとともに、各行政機関で実施する「事業評価」において、達成状況の評価、改善すべき事項の検討を行うこととする。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし